

運輸安全マネジメント取組み結果の評価

第56期(2018年4月1日～2019年3月31日)

1、概要

年間を通じ、国交省への報告対象となる重大事故の発生は無く、事故件数も前年度3件から1件へ減少し、労災事故は発生しなかったものの、人身事故が1件発生し、また、燃費改善活動では目標未達成となり、総体的には「不十分」という結果であった。今後も事故撲滅に向け、運転技術の向上は勿論のこと、プロドライバーとしての自覚を研鑽する仕組みの構築、運用の実行を行い、目標達成に取り組むことが継続課題である。

健康起因による事故防止対策として脳ドックや健康診断、運転者教育などは全て目標を達成し、更に期中からはSASを導入し取り組みの向上を図った。

また、後方側面事故防止を目的としたサイドソナー装着では、機器の不具合が発覚したことを受け、装着を断念し、継続した運転訓練の実施に切り替えた。

2、年間目標/結果

No.	項目	目標	実績	判定
1	年間燃費の改善	5%UP(昨年対比)	1.35%	×
2	燃費改善プロジェクトの確実な実施	各対策項目の確実な履行	80%	△

(1) 交通事故の減少

No.	項目	目標	実績	判定
1	人身事故	0件	1件	×
2	物損事故	0件	0件	○
3	自損事故	2件	0件	○

(2) 労災事故

項目	目標	実績	判定
労災事故	0件	0件	○

(3) 安全に関する投資：【目標:1,917千円 / 実績:633千円】

No.	項目	目標	結果	判定
1	安全運転につながる燃費改善活動に対する意欲向上を目的とした制度改革	1件	燃費向上プロジェクト立上げ	○
2	安全運転技能向上を目的とした乗務職の宿泊研修	270千円(10名)	270千円(10名)	○
3	後方事故防止のためサイドソナーを10台に装着	1,500千円	216千円2台後断念	△
4	脳梗塞等による乗務中の意識喪失予防に脳ドック	147千円(7名)	147千円(7名)	○
5	悪質違反の防止に関する研修	2回	2回	○
6	全運転者の「運転記録証明書」を基にした個別活用	1回	1回	○
7	乗務職及び指導者への安全指導(12項目)の実施	6回	6回	○
8	乗務職及び指導者・管理者へのKYT研修の実施	3回	3回	○
9	運転技術向上を目的とした外部研修会への参加	2回	2回	○
10	健康診断	全員	全員	○

(4) 事故に関する統計(自動車事故報告規則第2条に規定される事故)

項目	目標	実績	判定
2018年度	0件	0件	○

2019年 4月 1日
山梨総合運輸株式会社
代表取締役 樋口恵一

本社 ・ 本社営業所 ・ 長野営業所